

行/事/予/定

11~1月

- 11月19日(月) 大歳地区健康づくり・絆・交流の輪囲碁将棋大会【大歳地域交流センター】
- 11月25日(日) 第19回大歳地区分館対抗ソフトバレーボール大会【大歳小学校】
- 12月 9日(日) 第33回大歳体育振興会長杯争奪少年サッカー大会【維新公園ちよるる広場】
- 1月 6日(日) 山口市消防出初式【山口南総合センター】
- 1月13日(日) 山口市成人式【山口市民館】

おおとしかわら版 Information

大歳地区敬老祝賀会開催



大歳小長田さんのお祝の言葉

9月15日(土)11時から山口総合保健会館で75歳以上の方、263名のご出席をいただき盛大にとりおこなわれました。式典の後、お弁当を食べながら法界寺の住職さんたちのバンド演奏と、さわやか学級児童の皆さんによる踊りを楽しく鑑賞されました。



司会はおなじみ山本祥子先生



さわやか学級の舞

野々村社協会長から記念品贈呈



らくやあん鹿野苑バンドの弾き語り法話

交流列車おおとしまつり開催!



9月29日開催 雨の中たくさんのご来場ありがとうございました

かわら版モニター募集

広報誌『まちづくりかわら版おおとし』と一緒にリニューアルしませんか。かわら版の内容や構成についてのモニター会議を開催します。お茶しながら楽しくご意見を聞かせてください。ご参加いただける方は大歳自治振興会事務局(920-1700)まで。12月1日(土)14時から大歳地域交流センターで。

編集後記

大洪水に見舞われた倉敷市真備町、堤防が決壊した小田川の中には木が茂り、住民から伐採の要望が出ていたが放置。洪水後、あわてて伐採したが、これでは証拠隠滅と言われかねない。機を失うことなかれ。災害対策は早急にと願うばかり。(武波)

水位計が設置されました。

吉敷川の供有橋(大歳)、前田川の前田橋(吉敷)付近に水位計が設置され、山口県土木防災情報システムホームページ等で水位の確認ができるようになりました。ぜひ確認し早めの避難に役立ててください。山口県土木防災情報システムホームページ



水位計(供有橋)

http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/kco_top.aspx

まちづくりかわら版 おおとし 2018.11 Vol.54

試行中! 買い物支援カー出動 買い物困難者を支える 大歳民児協 初の試み (大歳地区民生委員児童委員協議会)

山口市社会福祉協議会から車を借りての週1回の買い物支援が始まりました。車がなくて買い物に不便を感じておられる方のお宅を回り、乗り合わせてスーパーに行き、買い物後自宅まで送るサービスです。毎週水曜日、市社協に車を借りに行き、運転手と添員が乗り込み、希望者のお宅を回っています。現在は民生委員だけで行っているため、週1回が限度で、大歳全体ではなく、馬庭・河内・高井など中山間地にお住まいの方を中心に試行的に運行しています。

利用されている方は異口同音に「とても助かっている」とおっしゃいます。しかし、同様の取り組みは、市のコミタク、生協などのスーパーも行っており、うまく併用すれば、買い物に出かける回数を増やすこともできますが、様々な隘路があって簡単にはいきません。野々村大歳地区民生委員児童委員協議会会長と山下副会長にお話を伺いましたが、高齢で一人暮らしの男性のほうが買い物に困っていると思ったが、利用が少ない。病院通いに利用したいという方も多いが、通院の場合、治療が終わる時間がまちまちで、帰りは自分で帰っていただくしかない。民生委員だけでは運用回数に限度があり、大歳全体に取り組みを広げられないなどなど解決しなければならない問題がたくさんあるそうです。

しかし、高齢者の切実な願いに応えようとするこの支援活動、12月でいったん終了予定ですが、知恵を結集し地区社協や自治振興会の力を借りて、もっと充実させて本格出発してほしいと筆者も願っています。



交流センター出発



ショッピングセンター到着



うきうき買い物タイム

第2回 大歳の自然・風景・歴史 大歳を広くアピールしよう! おおとしフォトコンテスト

10月22日、第2回おおとしフォトコンテストの審査があり以下の4点の作品が賞に選ばれました。



審査風景



金賞 「ふれあい」 車田純子



銀賞 「運動会に飛び入り」 澤村忠和



銅賞 「春を呼ぶ貴婦人」 高宇知邦彦



銅賞 「湾曲の大きな水路」 平仲三佐江



地域でイキイキと活躍している人達をご紹介しますコーナー！ 地元で愛される古民家風和風れすとらんでお食事を！

JR山口線の下湯田踏切から市道の大歳・矢原線を東へ約100m いった所に白い家と白い塀に仕切られ古民家風の和風れすとらんがあります。ここが今回ご紹介する原田安夫・恵美子夫妻の「百笑や」です。御主人の原田さんは、大歳生まれの大歳育ちです。大学卒業

後、地元の企業に就職していましたが、10年前から奥さんと店をやり始めて、ここに店をオープンして5年になります。メニューは「野菜と魚」中心でおいしいと評判です。他に弁当や仕出しもされています。地元で店を持った理由はなんですかと聞きますと「地域にすこしでもお役にたてれば」と言われます。店は二階建てですが、2階フロアの一部を地域の方の手作り衣料品などの販売に無料で提供されています。また、原田さんには、家の近くにあるゴミ集配所の清掃や不当投棄の管理を長年やってこられています。



原田安夫・恵美子夫妻



雑貨コーナーも

営業時間
11:00
～
15:00
不定休

大歳歴史の散歩道 Vol.33

第3回は、「大歳中央コース」の最終回です。

岩富の「最明寺」(B1)からほぼ東に朝田神社に向かって進むと、左側に木におおわれた古い民家が見えます。ここが「洋風の松村医院跡」(A14)です。松村医師は名医として知られていましたが、この家で生まれた松村禎子さんは小学校時代に榎野川の石津橋の下で水泳を覚え、本格的な指導で記録を飛躍的に伸ばし、昭和11(1936)年のベルリンオリンピックに100mの自由形で参加しました。その「松村医院跡」から東に見えるのが鎮守の森「朝田神社」(B10)です。明治42(1909)年の神社合祀までは、朝田神社は摂津国住吉より勧請した水の神様「住吉神社」でした。今も、当時のなごりで南側には榎野川に向いて狛犬、燈籠、鳥居があります。お参りして、境内を抜

「発見！おとし」 大歳中央コース・後編

けて参道を北に歩いて行くと市道(旧石州街道)にでます。そして右斜めの道を、北に行くと右側に「大歳様」(A13)あります。この「大歳様」は「農耕の神様」で、大歳の名は、この小字名に由来しています。大歳小学校が増改築するたびに移転し、昭和のはじめに現在地に落ち着きました。また、ここには「大歳疫神併祀神社」と書いた石柱があります。下湯田地区には「疫神元」とい小字名がありますが、おそらくその辺りのあった「疫神様」をここに併祀したのでしょう。朝田神社は11月中旬に「秋まつり」、大歳様は毎月、月初めと月半ばに大歳小学校の先生が御参りをし、また毎年12月1日には、下湯田の人がお参りしています。



大歳小学校の先生方のお参り

朝田神社南側の燈籠・狛犬・鳥居

交流センター
スタードゴール

大歳疫神併祀神社

洋風の松村医院

朝田神社 慰霊祭の様子

大歳中央コース 約2km

大歳地域交流センター → 恵美須社(A12) → 黒川市公会堂の薬師如来像(A11) → 供有橋と田中平四郎碑(A9) → 山下玄良の顕彰碑(A10) → 最明寺(B1)・岩富八幡宮跡(B7) → 洋風の松村医院跡(A14) → 朝田神社(B10) → 大歳様(A13) → 大歳地域交流センター

「通学路の交通安全対策協議会」が発足しました 石州街道を中心に安全な通学路を確保するために

大歳小学校前の石州街道は、道路幅と歩道が狭く、事故がいつ起きてもおかしくない状態にあります。大歳自治振興会ではこれまで通学路の交通安全対策協議会において協議を行ってききましたが、6月に歩行者と児童の安全確保を目的に山口市に道路の改善、特に水路のふたかけを要望いたしました。



狭い石州街道は危険がいっぱい

7月に山口市から道路の現状をふまえ、実現可能な整備方法について研究するとの回答があり、9月には水路容積の測量を実施予定との連絡がありました。

今後、行政の動きに対応し、さらなる検討を行うため会長に古谷静史朗を選出し、「通学路の交通安全対策協議会」が発足いたしました。今後、山口市との対応は建設委員を中心に行ってまいります。



大歳小学校前の石州街道と水路

自治会レポート 下湯田自治会編

各自治会にスポットをあて、地域の様子や日頃の悩み、抱負を自治会長さん達にざっくばらんに話していただきます。

下湯田自治会長は波多野実さんで、今年で2年目になります。下湯田自治会は吉敷川と榎野川の間で、まん中を石州街道とJRが走り、大歳小学校・地域交流センター・郵便局・朝田神社がある大歳の中心地域の自治会です。また下湯田集会所は軽便鉄道の大歳駅跡地ですし、大歳の地名の由来である農耕神の大歳様は今も12月1日に地区の方々が祭りをいり大事にされています。



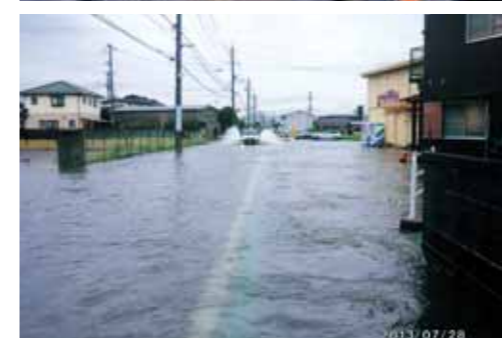
下湯田自治会長
波多野 実さん

下湯田自治会は約460戸、8班にわけて班長が運営委員を務めます。さらに



小班にわかれ、21人で市報などを配布しており、小班ごとに部数を数えて届けるのが自治会長の役目です。自治会の悩みは、ごみの不法投棄、石州街道の通学路の安全の確保、低地であるためにおこる水害対策と多くの他の自治会と共通しています。

人口流入で戸数が増え、人間関係が希薄になっていることが悩みですが、様々な活動は活発に行われており、いきいきサロン「ひだまりの会」は毎月テーマを決め、多様な取り組みを行って喜ばれています。また花壇づくりで三世代交流が図られています。



平成25年7月28日の豪雨災害
27年の大洪水の4年後もこの状態に

一人一人が声をかけあい、顔見知りを増やすこと、その数が倍増すれば自然と地域の活性化がすすむのではなかろうかと波多野会長は期待しています。



花いっぱい運動
皆で花植え作業

facebookが新しくなりました。のぞいてみて「いいね!」をお願いします。